

別添 万騎小通信 3月号 学校評価アンケート集計結果詳細

【保護者アンケート】学校評価アンケート（保護者） 令和5～7年度の経年変化まとめ

調査概要

本調査では、令和 5・6・7 年度の保護者アンケートをもとに、14 項目について結果を整理しました。左の表では、「A:よくあてはまる」「B:ややあてはまる」と回答された割合を肯定的な評価としてまとめ、年度ごとの変化を比較しています。また、「E:わからない」と回答された割合についても併せて示しています。さらに、右の表では、「C:あまりあてはまらない」「D:あてはまらない」と回答された割合を否定的な評価として整理し、その推移を見ることで、学校の実践に対する受け止めの変化を把握できるようにしています。これらを総合的に捉え、良い点はさらに伸ばすとともに、今後より一層の改善が必要な点について検討していきます。

○各項目の A+B (肯定的) 回答率と「わからない」回答率 (%)

質問番号・テーマ	R5 A+B	R6 A+B	R7 A+B	R6－R5 差	R7－R6 差	R5 E	R6 E	R7 E
1. 授業内容の理解	90.54	84.72	91.53	－5.82	+6.81	2.03	1.31	1.69
2. 主体的な学習	79.73	75.54	78.81	－4.19	+3.27	2.70	2.62	3.81
3. 協働的学習	67.56	65.06	66.10	－2.50	+1.04	16.89	22.71	19.49
4. ICT 活用	73.65	70.31	72.03	－3.34	+1.72	6.76	9.61	13.14
5. 活躍の場の設定	81.75	75.98	82.12	－5.77	+6.14	15.54	15.72	12.71
6. たてわり活動	82.44	83.40	79.66	+0.96	－3.74	6.76	6.99	7.20
7. 道徳の活用	68.92	62.88	64.59	－6.04	+1.71	15.54	20.96	22.46
8. あいさつ習慣	75.00	67.68	71.43	－7.32	+3.75	1.35	0.87	2.97
9. 体力向上	75.68	68.56	69.49	－7.12	+0.93	14.86	14.85	14.83
10. 楽しく登校	93.91	87.77	93.22	－6.14	+5.45	0.68	1.31	0.42
11. 成長への向き合い	89.18	80.35	86.86	－8.83	+6.51	7.43	8.73	6.36
12. 相談できる連携	85.13	83.41	81.36	－1.72	－2.05	4.05	4.80	6.78
13. いじめ不容認	92.56	85.59	87.29	－6.97	+1.70	6.76	10.48	10.59
14. いじめ対策	62.17	64.19	66.53	+2.02	+2.34	29.73	20.52	26.27

●各項目の C+D (否定的) 回答率 (%)

質問番号・テーマ	R5 C+D	R6 C+D	R7 C+D	R6－R5 差	R7－R6 差
1. 授業内容の理解	7.43	13.97	6.78	+6.54	－7.19
2. 主体的な学習	17.57	21.83	17.37	+4.27	－4.46
3. 協働的学習	15.54	12.23	14.41	－3.31	+2.18
4. ICT 活用	19.59	20.09	14.83	+0.49	－5.26
5. 活躍の場の設定	2.70	8.30	5.51	+5.59	－2.79
6. たてわり活動	10.81	9.61	13.14	－1.20	+3.53
7. 道徳の活用	15.54	16.16	7.63	+0.62	－8.53
8. あいさつ習慣	23.65	31.44	27.12	+7.79	－4.32
9. 体力向上	9.46	16.59	15.68	+7.13	－0.92
10. 楽しく登校	5.41	10.92	6.36	+5.51	－4.56
11. 成長への向き合い	3.38	10.92	5.93	+7.54	－4.98
12. 相談できる連携	10.81	11.79	5.51	+0.98	－6.28
13. いじめ不容認	0.68	3.93	2.12	+3.25	－1.81
14. いじめ対策	8.11	15.28	7.20	+7.18	－8.08

令和 5 年度から令和 7 年度までの保護者アンケート結果を比較すると、令和 6 年度には多くの項目で肯定的な回答が減少しましたが、令和 7 年度には全体として回復の傾向が見られました。令和 5 年度から令和 6 年度にかけては、「授業内容の理解」「主体的な学習」「活躍の場」「道徳の活用」「あいさつ習慣」「体力向上」「楽しく登校」「成長への向き合い」「いじめを許さない姿勢」など、多くの項目で評価が下がる結果となりました。学校としてはこれまでと同様に教育活動を行っていましたが、保護者の皆様の期待の高まりや評価の視点の変化により、結果として厳しい評価につながった可能性も考えられます。また、「わからない」と回答された割合が増えた項目も多く、特に協働的な学習や ICT 活用については、取組の様子が十分に伝わっていないことがうかがえました。

一方、令和 6 年度から令和 7 年度にかけては、14 項目中 11 項目で肯定的な回答が増加し、「授業内容の理解」「主体的な学習」「活躍の場」「楽しく登校」「成長への向き合い」などでは、特に回復が見られました。これは、学校が教育活動の改善を進めてきたことや、取組を継続してきた成果が、少しずつ表れてきたものと考えられます。しかし、「たてわり活動」や「相談できる体制」などでは、やや評価が下がる結果も見られ、今後も丁寧な取組が必要であることが分かりました。また、「わからない」とする回答は多くの項目で減少しましたが、ICT 活用や道徳、あいさつ習慣などでは依然として高く、学校での様子が十分に伝わっていない可能性があります。

項目ごとに見ると、協働的な学習については、令和 6 年度に評価が下がり、「わからない」という回答が増えました。令和 7 年度にはやや改善したものの、令和 5 年度の水準には戻っていません。学校では話し合いや学び合いを大切にした授業を進めていますが、その具体的な様子や成果が、保護者の皆様に十分伝わっていないことが課題と考えられます。たてわり活動についても、評価は大きくは変わらないものの、活動のねらいや子どもたちの成長とのつながりが分かりにくい部分があると考えられます。ICT 活用についても同様に、授業でどのように使っているのかを実際に見る機会が少ないため、「わからない」という回答につながっていると考えられます。いじめ対策については、肯定的な評価が 3 年連続で増えており、取組が一定の成果を上げていることがうかがえますが、「わからない」という回答が再び増えていることから、継続した情報発信が大切であると考えられます。

今後は、学習や教育活動の様子を、より分かりやすくお伝えしていくことが重要です。協働的な学習や ICT 活用など、教室で行われている取組については、授業参観や学年だより・学校だよりなどを通して、具体的な場面や子どもたちの姿を紹介していきたいと考えています。また、たてわり活動については、活動の目的や子どもたちの成長につながる様子を事例とともにお知らせし、理解を深めていただけるよう努めます。いじめ対策についても、個人情報に十分配慮しながら、学校の方針や取組の様子を継続的にお伝えしていきます。令和 6 年度には一時的に評価が下がる結果となりましたが、令和 7 年度には多くの項目で改善が見られました。今後も、学校の教育活動や子どもたちの成長の様子を丁寧にお伝えしながら、保護者の皆様と協力して、よりよい学校づくりを進めていきたいと考えています。

自由記述について（Q15.学校運営についてご意見があれば、お書きください。）

自由記述欄には 39 件のご意見をお寄せいただきました。多くの方から、「毎日楽しく学校に通っている」「先生方が子どもの良さを認めてくださっている」「一人一人に合わせて丁寧に関わってくれている」といった温かいお言葉をいただき、教職員一同、大変ありがたく受け止めております。また、主体性や創造力を大切にした授業の工夫や、地域の方と関わる学習活動について評価していただく声もあり、本校の教育活動がご家庭にも伝わっていることをうれしく感じております。

一方で、校舎建て替え工事により校庭の使用が制限されていることについて、「運動量が減らないか心配」「体育でできない活動への対応を知りたい」といった声も寄せられました。子どもたちの体力や気持ちのリフレッシュに関わる大切な点であり、今後も工夫しながら運動の機会を確保してまいります。

人間関係については、たてわり活動への不安や、いじめへの早めの対応を望む声がありました。子どもたちが安心して過ごせるよう、気持ちに寄り添いながら、家庭とも連携して見守っていききたいと考えております。

これらのご意見は、学校への信頼と期待をもっていただいているからこそ声であると受け止めています。今後も保護者の皆様と力を合わせ、子どもたちが安心して楽しく学べる学校づくりを進めてまいります。

【児童アンケート】

調査概要

本調査では、令和 5・6・7 年度の児童アンケートをもとに、14 項目について結果を整理しました。保護者アンケート同様に、左の表では、「A:よくあてはまる」「B:ややあてはまる」と回答された割合を肯定的な評価としてまとめ、年度ごとの変化を比較しています。また、「E:わからない」と回答された割合についても併せて示しています。さらに、右の表では、「C:あまりあてはまらない」「D:あてはまらない」と回答された割合を否定的な評価として整理し、その推移を見ることで、学校の取組に対する受け止めの変化を把握できるようにしています。

○各項目の A+B (肯定的) 回答率と「わからない」回答率 (%)

項目	令和 5	令和 6	令和 7	前年差
1.内容理解	89.0	88.8	93.1	+4.3
2.進んで学習	89.6	89.4	90.4	+1.0
3.友達と教え合い	84.9	84.7	84.0	-0.7
4.iPad 学習	89.7	89.3	90.8	+1.5
5.授業を楽しむ	89.1	89.0	88.1	-0.9
6.にこにこ班活動	86.3	86.1	86.8	+0.7
7.気持ちを考える	86.3	86.3	89.7	+3.4
8.挨拶をする	85.0	85.1	90.8	+5.7
9.体力向上	83.3	83.2	88.2	+5.0
10.楽しく通う	88.7	88.3	87.8	-0.5
11.自分の良さ	86.1	85.8	80.1	-5.7
12.困り時に相談	84.7	84.4	83.0	-1.4
13.いじめ許さない	89.8	89.7	97.5	+7.8
14.いじめ解決	81.1	80.9	81.4	+0.5

●各項目の C+D (否定的) 回答率 (%)

項目	令和 5	令和 6	令和 7	前年差
1.内容理解	9.3	9.3	7.0	-2.3
2.進んで学習	8.7	8.6	9.6	+1.0
3.友達と教え合い	13.0	13.0	16.0	+3.0
4.iPad 学習	9.0	9.0	9.3	+0.3
5.授業を楽しむ	9.4	9.4	11.9	+2.5
6.にこにこ班活動	11.4	11.4	13.2	+1.8
7.気持ちを考える	11.4	11.4	10.3	-1.1
8.挨拶をする	13.0	13.0	9.2	-3.8
9.体力向上	15.0	15.1	11.8	-3.3
10.楽しく通う	10.1	10.4	12.1	+1.7
11.自分の良さ	11.6	11.9	20.0	+8.1
12.困り時に相談	12.6	12.8	17.1	+4.3
13.いじめ許さない	8.5	8.6	2.5	-6.1
14.いじめ解決	16.4	16.6	18.5	+1.9

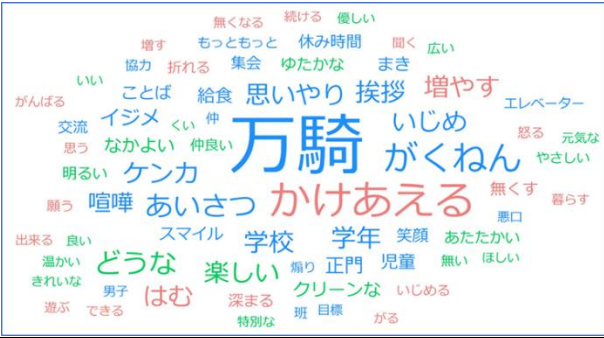
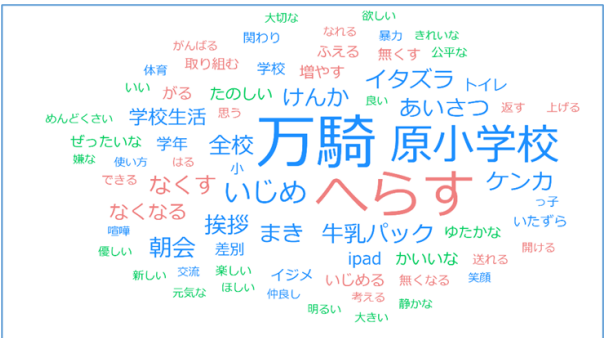
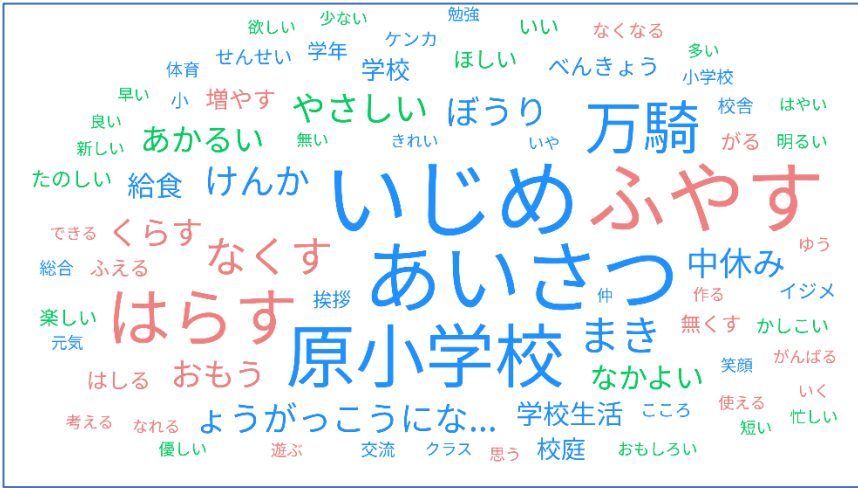
アンケート全体を振り返ると、多くの児童が学習や学校生活を前向きに受け止め、学校に対して高い満足感をもっている様子が見えてきます。特に「いじめは絶対に許されない」と回答した児童は、令和 7 年度に 97.5%とほぼ全員に達し、前年から約 8 ポイント増加しました。これは、学校全体で継続してきたいじめ防止の取組や啓発活動が、児童の意識の向上につながっていることを示しています。また、挨拶をしっかりと行う児童や、体育の授業や運動会、休み時間などを通して体力が向上したと感じる児童も増え、肯定的な回答が 9 割前後となりました。これらの項目で大きな改善が見られることから、学校の雰囲気づくりや運動機会の充実が成果として表れていると考えられます。

一方で、「自分の良さを感じている」「困ったときに相談できる」「友達と教え合いながら学ぶ」といった、自己肯定感や協働的な学びに関する項目には課題が見られます。「自分の良さを感じている」と答えた児童は 80.1%と高い割合ではあるものの、前年より低下し、否定的な回答が 2 割程度となりました。また、困ったときに相談できるかどうかについても、否定的な回答が増える傾向が見られます。友達同士で教え合う学習についても、肯定的な回答が伸び悩んでおり、互いに支え合いながら学ぶ姿勢をさらに育てていく必要があると考えられます。

授業や学校行事の楽しさについては、わずかな減少はあるものの、授業を楽しんでいる児童は 88.1%、楽しく学校に通っている児童は 87.8%と、いずれも高い水準を保っています。給食や iPad を活用した学習、にこにこ班活動、相手の気持ちを考える意識などの項目では、肯定的な回答が安定しており、内容理解や ICT 活用についてもやや改善が見られました。

今後は、自己肯定感を高める取組や、相談しやすい環境づくり、協働的な学びの充実に力を入れるとともに、成果が見られるいじめ防止や挨拶、体力向上の取組を継続していくことが大切です。保護者の皆さまにも、家庭でお子さんの良さを認め、気持ちを話しやすい雰囲気をつくっていただくなど、学校と連携した支援へのご協力をお願いいたします。良い点を伸ばしながら改善すべき点に取り組むことで、児童がより安心して充実した学校生活を送れるよう努めてまいります。

自由記述について

令和5年度  令和6年度 	令和 7 年度 	あいさつ・仲間づくりの推進: 多くの児童が「もっとあいさつを増やしたい」「元気なあいさつを返してほしい」と答えています。元氣よく声を掛け合うことで、学年を越えた友達づくりや温かい雰囲気づくりにつながると考えている様子が見られました。 いじめ・暴力のない学校づくり: 「いじめをなくしたい」「暴力や嫌がらせをなくしてやさしい学校にしたい」といった意見が多数あり、児童たちは安心して過ごせる環境を求めています。「チクチク言葉をなくす」「ふわふわ言葉を増やす」など、言葉遣いの改善を求める声もありました。 環境整備・施設の改善: 「ゴミのないきれいな学校」「工事が早く終わって校庭を使いたい」「校舎をきれいに使ってほしい」など、学校環境を整えてほしいという要望もありました。遊具の充実や新校舎の早期完成を望む声が目立ちます。 学年を越えた交流・イベントの充実: にこにこ班活動や他学年との交流を増やしてほしいという意見のほか、「委員会やクラブ活動を工夫してみんなが楽しめるようにしてほしい」「図書室を放課後に開放して勉強したい」「運動会やイベントを増やしてほしい」といった希望が挙がっています。 授業やルールに関する提案: 「授業をもっとスムーズに進めてほしい」「先生に生徒の話を最後まで聞いてほしい」「校則を先生も守ってほしい」といった授業や学校ルールに関する改善提案も少数ながら見られました。また、体育や総合の授業時間を増やしてほしい、校則の見直しを求める声もありました。 給食や生活面の要望: 「給食の残しを減らして食品ロスをなくしたい」「人気メニューを増やしてほしい」「給食カードや牛乳をなくしてほしい」といった給食に対する意見や、休み時間を長くして外遊びを増やしたいという意見もありました。 こうした結果から、児童たちは明るいあいさつと互いへの思いやりを重視し、いじめや暴力のない安全な学校を強く求めていることがわかります。また、学年を越えた交流やイベントを通じて仲間意識を高めたいという思いとともに、学校環境の改善や授業・給食に関する具体的な提案も寄せられており、児童自らがより良い学校づくりに関わりたいという意識が読み取れました。
※ユーザーローカル テキストマイニングツール (http://textmining.userlocal.jp/) による分析		